

枕崎市 地域学校協働活動だより

令和6年9月号

パソコンで検索 枕崎市地域学校だより 検索

スマホで読み取り



発行
枕崎市
教育委員会
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

～地域の高齢者による戦争体験講話～ 立神小学校

立神小学校で毎年取り組んでいる行事で、立神地区公民館の青少年講座の一つにもなっています。この日は、立神校区老人クラブ連合会の戸床安孝さんと小田弘さん、まくらざき探検隊の北川忠武さんが話をしてくれました。

小田さんは、枕崎空襲や枕崎沖に沈んだ戦艦大和の写真、枕崎が戦災や戦後の台風を乗り越え、人々の力で復興したことをDVDで上映し、北川さんは実際に枕崎を空襲した飛行機の模型を見せて被害の大きさなどを説明してくれました。

戸床さんは、枕崎空襲・枕崎台風・復興への歩みが簡潔に書かれた資料を配布しながら、子供たちに分かりやすく説明し、「私たちの先輩達は、戦争や枕崎台風の被害から立ち上がって枕崎を復興した。先輩達の苦勞と努力で現在の枕崎があることを知ってほしい」と熱く語ってくれました。



飛行機の模型を持って説明する北川さん
中央は戸床さん、右は小田さん

桜山小学校では、8月7日に5年生が学校田で早期水稻の稲刈りを行いました。

4月に田植えをしてから約4か月が経ちました。様子を見に行ったり、田車で草を取ったり、成長を見守ってきた稲の収穫。

今回も校区内で農業を営む山崎己代治さんや地元の方に指導していただきながら、鎌とコンバインを使って稲刈りを行いました。

収穫した米やもち米は、12月の餅つき大会や家庭科での調理、そして桜山小PTAバザーでの販売に使う予定です。

今回とても貴重な経験ができました。このお米をぜひいろいろな人に食べてもらいたいです。



まずは鎌を持って手刈りで稲刈り



交代でコンバインでの稲刈りを体験

～成長を見守った 稲を収穫！～ 桜山小学校

～六月灯の灯籠を作って神社に奉納～ 金山地区公民館

には子供たちが灯籠を奉納し、地域総出のお祭りで賑わいます。昨年に続き、地域の方々の尽力で「焼鳥」「焼とうもろこし」「わたあめ」に「花火」の出店もあり、多くの人出で賑わっていました。

金山地区公民館では、6月の青少年講座で小学生が大人と一緒に六月灯の灯籠づくりを行い、7月27日の大山祇神社の六月灯には子供たちが灯籠を奉納して無病息災を願いました。



神社に灯籠を奉納



「わたあめ」は自分で作る

～琴の生演奏で七夕飾りと読み聞かせ～ 桜山地区公民館

桜山地区公民館の青少年講座「七夕飾りと読み聞かせ」が6月29日に行われ、「琴聖会（きんしょうかい）」の方々の演奏と読み聞かせに、小学生5人が参加してくれました。

琴聖会は、桜山地区公民館を拠点に活動する自主講座グループで、月4回ほど集まって練習を重ねています。この日は、生の琴の演奏で「かぐや姫」「笠地蔵」「まんが日本昔ばなしオープニングテーマ曲」をBGMにして読み聞かせをしていただきました。



七夕飾りと短冊を竹に結ぶ



箏の生演奏をBGMに「かぐや姫」の物語

子供たちは、熱心に琴の音色に聞き入っていました。その後、時間も忘れるくらい一生懸命七夕飾りを作ってくれて、短冊にも願い事を書いて竹にくくりつけていました。

～青少年講座で書道教室を開催～ 枕崎地区公民館



児童の手を取って指導する中山さん

夏休みの習字課題の書写指導を行いました。枕崎小の児童5人が参加し、1日目に課題の練習、2日目に清書という日程で、薩摩酒造の「新酒祭り」の課題に取り組みました。3年生以下は「いも」、4年生以上は「新酒」の文字を中山さんが手本を書いて、「筆は寝かさないで垂直に持つ」「机と肘が水平になるように構える」などを説明し、手を取りながら文字を書く指導を行いました。子供たちはめきめき上達し、清書ではそれぞれが自分でも満足のいく作品を書き上げていました。きっと「新酒祭り」で入選することと思います。

枕崎地区公民館の青少年講座「書道教室」が、8月6日と7日に枕崎地区公民館で行われ、ボランティアの中山香一郎さんが、

夏休みの習字課題の書写指導を行いました。枕崎小の児童5人が参加し、1日目に課題の練習、2日目に清書という日程で、薩摩酒造の「新酒祭り」の課題に取り組みました。

3年生以下は「いも」、4年生以上は「新酒」の文字を中山さんが手本を書いて、「筆は寝かさないで垂直に持つ」「机と肘が水平になるように構える」などを説明し、手を取りながら文字を書く指導を行いました。



筆遣いについてやさしく説明